

# 多賀工業会 関西支部 会報

●令和3年6月

●発行人 / 萩原 信男

●編集責任者 / 川上 啓二

●事務局 〒665-0072

宝塚市千種4丁目17-16-407号

●E-mail nobuo12341234@yahoo.co.jp



## ●表紙写真説明 家族で楽しむ行楽地（大阪府）：「大阪万博公園」

皆さん良くご存じの吹田市にある万博記念公園です。1970年開催の[万国博覧会]の後、緑に包まれた文化公園として緑化を進め、今は人々の憩いの場所となっています。特に大きな芝生広場が3か所あり、家族連れの手軽な行楽に最適だと思います。

また、日本庭園や国立民族学博物館も楽しめます。私の家から歩いて10分ですので、週2回は散歩に利用し、きれいな花々や野鳥のカワセミの出会いがよくあります。（年間パスポート使用）

是非紹介したいのは、50年振りに復活した岡本太郎氏デザインの太陽の塔内部の見学です。（予約制ですが、見学者が少なければ当日入場可能です。）生命の進化の過程を示す展示空間で、岡本太郎氏の爆発した芸術、思想に圧倒され自分の生き方を考えさせられます。開催時には、太陽の塔に向かって左側の手の内部にエスカレータが動いていて、お祭り広場に行けるようになっていたそうで、太陽の塔の大きさ、堅牢さが解ると思います。交通アクセスは、車かモノレールが便利です。

高橋 昌之（精密 S44）

住所 / 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 1-1

電話 / 06-6877-7387 <https://www.expo70-park.jp/other/inquiry-2/>

## 目次

●表紙 家族で楽しむ行楽地（大阪府）：「大阪万博公園」	
●目次	..... 2
令和3年度 関西支部の活動体制	
●令和元年度の関西支部定期総会報告	..... 3
●会員ひろば	..... 7
「錦秋のカナダ」 伊勢山 宏（化学 S40）	
「スロベニアからの訪日」 行正 隆俊（機械 S54）	
「趣味の写真撮影」 岡 浩二（院入 H07）	
●会員だより（令和元年度分）、支部会員異動	..... 14
●令和2年度の決算報告案	..... 15
●同好会だより	..... 16
ゴルフ同好会／ウォーキング同好会／テニス同好会	
●大学の話題及び学科名の変遷	..... 19
●支部長からの連絡	..... 20
編集後記	

### 令和3年度：関西支部の活動体制

- \*支 部 長：萩原 信男
- \*幹 事 長：川上 啓二（兼 副支部長）
- \*副支部長：赤塚 修三
- \*会 計：高橋 昌之 田桑 克己
- \*会計監査：伊勢山 宏

- 役員会（顧問、幹事）  
支部運営の重要事項の報告、相談、指導、助言（2回開催/年）
- 幹事会（幹事19名）  
支部運営のための総括的な事業の企画・活動・議案立案（6回程度開催/年）現在 LINE 活用
- 会報編集委員会（委員長：川上 啓二、委員補佐：伊勢山 宏）  
年2回（春・秋）の関西支部会報の企画、草稿、編集、出版
- 名簿編集委員会（委員長：川上 啓二）  
約500名の関西支部会員の転出入管理、関西支部の名簿管理
- 総会準備委員会（委員長：船田 順久）  
総会の企画立案、会場手配などの諸準備、運営
- 支部活性化委員会（幹事全員）  
関西支部活動の中長期計画、会員のサービス向上、新入会員増加・交流促進
- 同好会活動  
ゴルフ同好会（春・秋・関西中部対抗戦；世話役：伊勢山・鈴木）  
ウォーキング同好会（3～4回程度/年；世話役：田桑）  
セイルング同好会（月1回程度；世話役：萩原）  
テニス同好会（3～4回程度/年；世話役：川上）

# 令和元年関西支部定期総会開催

令和元年6月22日(土)12時30分より松心会館にて関西支部総会が開催されました。本部来賓として杉田会長、中部支部より菅谷支部長、中国・四国支部より高村支部長のお三方をお迎えし、関西支部会員21名の出席にて行われました。恒例の特別講演では伊藤隆康氏(機械 S54)より「人生100年時代後悔しない生き方」という題目でご講演頂きました。

## 1. 総会(12:30~13:10)

- 開会 …川上副支部長
- 支部長挨拶 …萩原支部長
- 来賓挨拶 …杉田会長
- 平成30年度事業報告 …萩原支部長
- 平成30年度決算報告 …高橋幹事、伊勢山幹事
- 平成31年度事業計画 …萩原支部長

## 2. 杉田会長より挨拶と工業会の近況説明

### ・工業会の認知度

H29年に在学生へのアンケートを実施したところ、工業会の認知度はあまり高くなく、会報および工業会館への関心が著しく低いことなどが明らかになり、会費納入数低下の一因と考えております。対策としての会報および工業会館のPRを実施したところ、工業会館の利用学生数の大幅な増加に繋がっています。

会費の支払いは保護者の意向が強いと考えられますので、保護者へのアピールとして会報における保護者向けの内容、まずは就職関連(求人案内など)の記事の掲載を始めております。各支部において、就職・インターンシップに関する情報を提供していただくと掲載記事の充実が図れるのではと考えております。

### ・70周年記念事業

工業会理事の皆様にご協力を頂いて募金委員会を立ち上げ、会員の皆様にご寄付のご協力をお願いしております。5月末で約1900万円のご寄付を頂いております。寄付につきましては現在も継続中ですのでご協力をお願いできればと思います。



### ・財政状況など

赤字決済が3年連続で続いています。その大きな要因は会費納入数の低下であります。これについては、大学側と協議して納入方法の改善を検討しています。また、今年度の会報62号においてご寄付のお願いをしたところ、200名以上の方から100万円を超えるご寄付を頂きました。会員の皆様のご厚意に感謝致しております。厳しい対応ですが学生支援や支部への援助費も削減の対象にせざるを得ず、令和2年度には黒字決済にと対策を考えております。

### ・工学部の近況

平成30年度に従来の8学科から5学科へと再編されました。合わせて大学院も3専攻に再編されております。

### 3. 特別講演 講師：伊藤 隆康氏（機械 S54 年卒）

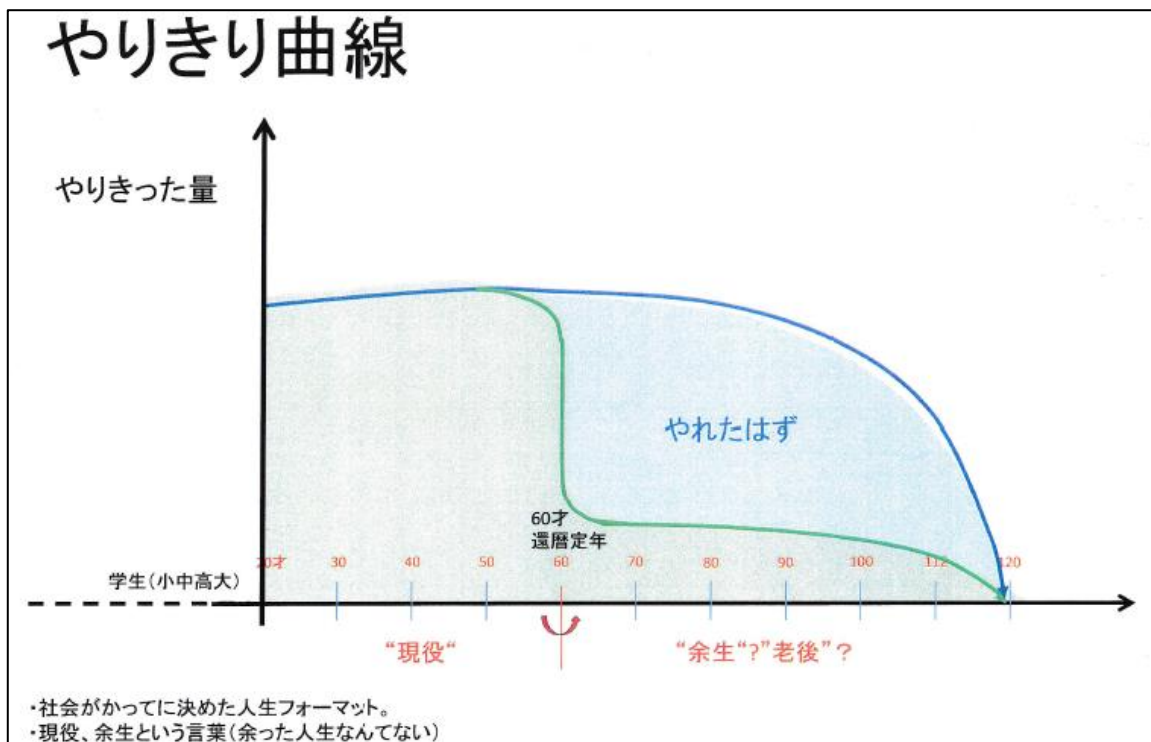
「人生 100 年時代の後悔しない生き方 – おもしろ開発事例を交えながら –」

茨大卒業時 1974 年の平均寿命は、男性 65.3 歳、女性 70.2 歳であり、60 歳が定年で、以降が第二の人生（余生とも）と言われていた。2010 年は男性 79.6 歳、女性 86.4 歳となり、近年定年も 65 歳になり人生 100 年時代と言われ出した。

伊藤さんの考えでは、社会人となってから、10 年を 1 期として、10 期の人生を味わいたいので、120 歳まで生きるのが目標であり、実際に卒業後、就職や起業により 4 期 40 年の人生を歩んできて次に何をするか検討中との事。

後悔しない人生のための 3 箇条は、以下と考えているとの事。

- ① 生きると決める。（健康は手段であり目的ではない）
- ② 「今何を生きているか」に即答できるようにする。
- ③ 人生最後の 10 秒に「後悔のないこと」にできるようにやれたはずの事をやりきるようにする。



2005-2013 年で 58 の開発実績があり、技術者向けに面白いものとして米袋（クラフト紙）の蝶蝶結び機や、裸眼でどこからでも 3D 画像が見える裸眼 3D 装置などを動画で紹介して頂き、幅広い分野の物を開発されていたことに驚きました。

（後悔の多い私には、今後を考える良い機会になりました。記川上）

### 4. 懇親会（14:00～16:00）

行正幹事の司会で、中部支部・支部長 菅谷 伸夫様、中国四国支部・支部長 高村正和様のご挨拶、氏家様の乾杯で懇親会スタートしました。今回も出席者全員に近況や関心事を話して頂き、大変盛り上がりました。

楽しいひとときの最後は、恒例となりました校歌と寮歌を斉唱して懇親会を終えました。

総会時の写真



支部長



杉田会長



特別講演



懇親会



懇親会



懇親会



懇親会



懇親会



懇親会



校歌・寮歌 斉唱



## 錦秋のカナダ



伊勢山 宏 (化学 S40)

世界各国に新型コロナウイルスが蔓延し、とても海外旅行に行けるような情勢で無い昨今ですが、一寸古い話になって申し訳ないのですが、カナダの旅の思い出を記してみました。6年前の9月末から10月にかけて、カナダの紅葉を見に行こうと言う事で茶飲み友達と5人で伊丹を出発しました。成田で関東地区からのツアー客と合流し総勢24名の団体旅行でした。

アメリカのデンバー経由で夕刻のカルガリーに到着、バスで2時間ほど走り、カナディアン・ロッキーの美しい街バンフでカナダの最初の夜を迎えました。

2日目はロッキーの氷河湖めぐり。まずレイク・ルイズで氷河と湖の美しさを満喫する。湖畔には古城のように荘厳なシャトー・ホテルが景観に溶け込んでいる。続いてペイト・レイク、ボウ・レイクを巡りました。このあたりの紅葉はまだ三分ほどの色付きでした。



次はコロンビア大氷原に向けてアイスフィールドセンターからのシャトルバス・雪上車を乗り継ぎ大氷原の上に降り立つ、そこは青白く輝く氷の世界

で氷河の厚さは200mもあるとのこと。この季節の氷河の表面はシャベット状態であり、山から吹き降りてくる風が冷たい。寒さ対策をしっかりとて来たつもりだったが氷の上はさすがに寒い。楽しみにしていた大氷原は期待通りのすばらしさであった。

この日はカルガリーに泊まり、3日目は移動日でカルガリーからトロントまで飛び、トラブルのため夜遅くにナイアガラのホテルに到着した。明日のナイアガラの滝に期待を膨らませながら眠りにつく。

翌朝窓の外を見ると雲のように沸き立っている白いものが目に入った。一瞬何かかなと思ったが直ぐに滝ツボからの水しぶきだと分かった。これだけでもナイアガラのスケールの大きさが分かる。見晴らし台ではカナダ滝とアメリカ滝を見ることの出来る。しぶきを浴びながらも思わずシャッターを押し続けた。カナダ滝は幅675m、高さ52m、滝壺の深さが60m、アメ



リカ滝は幅320m、高さ55m、岩場に落ちて居るため滝壺はないとの事である。

このあと観光船「霧の乙女号」に乗り、支給された赤いビニールカッパを着て、水しぶきを浴びながらカナダ滝の滝壺ギリギリまで迫る大迫力の観光をしました。

このツアー二つ目の楽しみにしていたポイント、ナイアガラの滝は今までテレビ等では何度も見ているが、やはり目の当たりにした迫力はさすがである。

ナイアガラを後にしてカナダ最大の都市トロントの市内観光に向かう。州議事堂・市庁舎を巡り、バスでトロント大学の構内を見学。カナダ屈指の名門大学とのこと。ノーベル賞の授賞者も多数出ているとの事である。アグネスチャンが卒業生であるとの説明があった。

キャンパスは自然豊かで広く、グラウンドは全面芝生張りである。また200年の年月が経っていると云う大学の建物はその歴史を感じさせる。トロントを後にしてアルゴンキン公園地区の今宵の宿に向かう。この辺まで来ると大分木々が色づいてきているが、見ごろまでは一寸早い感じであった。

5日目、秋彩に染まるアルゴンキン州立公園を日本人ガイドの案内で1時間ほどのハイキング。サトウカエデが今が盛りと紅葉しており「みごと」の一言である。カナダの紅葉は黄色が主と思っていたが、どうしてどうして赤色に燃えた木々も混じり合って素晴らしい景観を呈している。途中のルックアウト展望台からは、はるかに繋がる雄大な紅葉が望めました。



観光後一路、紅葉のハイウェイを首都オタワまで3時間ほどのドライブ。市内観光は世界遺産のリドー運河、敷地が解放されている国会議事堂などを見学し、三つ目の楽しみにしている世界屈指の紅葉リゾート、ローレンシャン高原へ向かう。夕刻ホテルに到着。

6日目、ホテルを出発しローレンシャン高原に到着、ゴンドラに乗ってトレンブラン山頂に着いた。一面に広がる色鮮やかなパノラマが見えるはずだったが、残念ながらガスが掛かり視界がわずかなので早々に下山した。下山途中でわずかにガスの晴れ間からパノラマの一部を楽しむことは出来た。

この地はカナダで1、2の人気スキーリゾートであるらしく、紅葉の中に多くの別荘が点在している。またトレンブラン村の坂道には土産物店が軒を連ねている。

紅葉のローレンシャン高原を後にしてモントリオールの市内観光に向かう。

約200年前に創建されたノートルダム教会は、北米最大規模のカトリック教会で、一歩中に足を踏み入ると素晴らしいステンドグラスの飾りが出迎えてくれた。

1976年のモントリオール・オリンピックのメインスタジアムは車窓から眺めた。サンタマール小路は小さなブロックに地元の芸術家の作品が並べられており、土産としてそれらの作品を求める観光客で賑わっていた。この日と翌日は、ここモントリオールでの連泊となった。

7日目はケベックに向かって錦秋のメイプル街道をドライブ。高速道路の数キロも続く直線にはカナダの広大さを改めて認識させられました。

高速道路は全て無料とのこと、それと危険防止のため全車点灯して走っている。

ケベックは1985年に北米の都市として最初に世界遺産に登録されたとの事、城壁に囲まれた旧市街地は古都の風情あふれる街並みを堪能する事が出来る。カナダの公用語はほとんどが英語であるが、ここケベック州はフランス語が公用語となっていて、道路標識などは英語とフランス語が併記されています。

街のシンボルである古城のように美しい高級ホテル、シャトー・フロントナックが小高い丘の上に立っている。ロウアー・タウンから見上げるホテルは素晴らしい景観である。



モントリオールへの帰路、途中でメイプルシロップ農家に立ち寄り。収穫期は春先とのことで採取をしている所を見ることは出来ませんでした。カナダ土産の定番はこのメイプルシロップであるので当然数個を購入し土産としました。

8日目はモントリオールからシカゴ経由で成田までのフライト、翌日の夕刻に成田から伊丹に到着。日本に着いたらまず寿司を食べようと皆で話していたが伊丹到着が遅い時間となり、食堂は閉まっていた。残念ながら、9日間の錦秋のカナダの旅は大きなトラブルもなく終了し、無事に帰国する事が出来ました。

天候に恵まれた旅でコロンビア氷原、ナイアガラの滝、ローレンシャン高原の紅葉と皆素晴らしい、その他の場所も十分に楽しむことが出来ました。

只、旅の楽しみの一つである美味しい料理には残念ながら出会う事は出来ませんでした。唯一、ホテル到着が夜遅くなった時、バスで配られた幕の内弁当が一番おいしかったのが笑える出来事でした。

時差が13時間から16時間もある旅でしたのでさすがに身体に堪えました。

カナダもアメリカも空港でのセキュリティは非常に厳しく、靴まで脱がされ、指紋を取られ、顔写真を撮られたりと、搭乗や入国には長い時間掛かりました。また小生と仲間一人のスーツケースは開けられて中身を調べられていました。



# 妻のペンパル、スロヴェニアから来たる



行正 隆俊（機械 S54）

私たち夫婦は、2017年5月に妻の長年（中2から現在まで約45年に至る）の文通友達である、スロヴェニアのシモンさん（男性）の国を念願叶って訪問しました。スロヴェニアは、イタリア北部の旧ユーゴスラビアから独立した面積四国程度の国です。今回シモンさんは、妻のスメリアさん、次女のシニヤさんの3人で来日されました。

日程は、2019年7月9日から21日間の旅行で、前半の10日間は私の自宅を起点に、一緒に観光し、後半は彼らのみで観光です。

事前に観光先の希望を聞いてもよく分からないので、英語版観光ガイドブックを入手してどんなところが紹介されているか調べて、前半の旅程を立てました。また、後半の予定は不明なまま彼らを迎えることになってしまいました。

私たちがスロヴェニアに旅行した時もそうでしたが、初めてだとよくわからないのが正直なところでしたので、何とかなるだろう、ということで臨むことになりました。

ここでは、観光した所を順に紹介し、その後、外国の方との束の間の生活の感想や、苦労した点も書いていこうと思います。

昨年7月9日に成田空港着。埼玉にいる娘に迎えに行ってもらい、娘と一緒に新幹線経由で来阪。JR茨木駅で出迎えて、日本観光をスタートさせました。まずは、荷物（彼らはバックパッカースタイルでガラガラとケースを引っ張るスタイルではないです）を家に置いて出発しました。

大阪市内見学、歌舞伎見学、別府温泉1泊、広島宮島、瀬戸大橋遊覧、京都抹茶体験、奈良観光、姫路城、京都嵐山、大阪近郊有名建築家の建造物見学のコースで行きました。最後の箇所は、シモンさんとシニヤさんが建築関係のためです。

1日目は大阪市内からです。キタはスカイビルの空中庭園は好評、ミナミでは、やはり道頓堀の愛相橋のグリコの看板を見てもらい、次に松竹座で歌舞



伎見学、幸運にも舞妓さんも見学していました。これは、見学用に20分くらいで安く入ることができるものです。失敗だったのが、動きの殆どない場面に当たり、我々が見てもつまらなかったところ。その後有名な串カツを食べてもらいました。

夜は家で食事をし、夜の10時頃疲れているだろうから寝ようすると、そこから彼らの習慣で12時半くらいまで今日の感想や明日の予定などの話をします。疲れませんが中々面白いことでした。

2日目、別府までJR利用。途中、児島から瀬戸内海遊覧船に乗り、瀬戸大橋を海から見学。建築家らしく下から橋を見たい、ということで迫力ある橋の構造



を見せることができました。別府にて砂風呂を全員で経験。夜は、豊山荘という旅館に泊まりました。そこは別府温泉の中でも美人の湯で有名なところ。温泉の入り方として、夜と朝に入ること、この温泉に入ると美人になる、と言う話をすると、朝夕計6回入ったそうで、大笑いでした。翌日広島の宮島、原爆公園を見学しました。原爆ドームを見たいと言われたときは、複雑な気持ちでした。駅ビルでは40分くらい並び広島焼を食べてもらいました。まあ好評。

5日目はゆっくりしようとして、京都で抹茶体験をしました。東寺の前の通りを一本入ったところのお茶問屋さん。娘さんと奥さんは抹茶経験があるそうで、シモンさんと私と当方の娘が未体験でした。娘も一緒に来てくれて、説明を通訳してくれたのは助かりました。興味があつたようなので、家のそばのたこ焼き屋さんで、たこ焼きを焼いているところを実演してもらい、見学しました。

6日目は、奈良観光です。比較的近鉄奈良駅に近いところを歩いて回りました。ここでは着物をレンタル(京都では予約できず)し下駄を履きました。着物を着るときに男性陣はすぐ終わりましたが、女性陣は長くかかり、シモンさんは「いつも女性は長い」とぼやいていました。それは世界共通だ、と言うと、大いに同意を頂きました。世界は同じで、女性陣の前では言えないそうです。奈良公園の鹿にせんべいをやっている、娘さんが美人なので、たくさんのカメラマンに囲まれていました。中欧の女性は美人が多いのは有名です。

7日目と8日目は、京都嵐山観光。観光タクシーを予約し回りました。運転手さんの英語での観光案内付です。京都祇園祭の宵山で、鉾に登らせてもらいました。女性は一番上には上がれない、との事でしたが、問題にはならなかったです。祇園、伏見稲荷、金閣寺、清水寺と回りました。夜は宵山で、パレードと夜店を楽しみました。翌日は嵐山観光。保津川下り等楽しみました。また京都には日本で唯一のスロベニア料理レストラン「ピカポロンツァ」があり、スロベニア料理を食べて元気を出してもらいました。

9日目は、姫路城にいき、姫路おでんを食べてもらいました。姫路城では、ボランティアの英語ガイドをお願いしました。シモンさんと娘さんは、低い建物が多い街のデザインに感心していました。帰りに安藤忠雄さん設計の兵庫県立こどもの館を見学できました。近くの道路を歩くと道沿いの土手にペットボトルが散乱しているのを見て、日本でもこういうところがあるのか、と驚かれました。

ペットボトルはどんどんガラス瓶に代わっているようで、ヨーロッパの本気を感じました。

我々との観光旅行の最後の日に、急に望まれたのが、安藤忠雄の建築物、茨木市の光の教会の見学です。ここは残念ながら2か月くらい先まで見学の予約は埋まっていたので、外観のみ見ました。向こうでは教会は常にオープンなので、自由に中に入れないということが理解してもらえず、少し苦勞しました。

次に、観光以外で感じたことなどを書きます。

### ●旅行で大変だったこと、助かったこと

外国人の観光を促進するため、全国のJR系交通を自由に利用できるJRパスを彼らは使います。これは日本人は利用できません。5万円で海外での購入のみです。彼らと



周ると日本人はお金が結構かかります。案内するときはJRを使わざるを得ません。外国の方と旅行する時は注意です。今回の場合、私たちは1.5倍くらい交通費に使いました。またJR以外の地元の交通機関が使いにくくなる点は課題と思いました。

また、タクシーが殆どの場所で5人乗りなので、5人での旅行では、タクシー2台使いとなってしまいました。しかし、京都ではベンチシートの6人乗りのタクシーも走っており、助けられました。

英語は、各観光地では専門家に助けてもらいました。ボランティアでやっておられる方が多いようです。ポケットークでも分からないことが結構ありました。ただ街中では、苦戦していると、「どうしましたか?」と声をかけてくれる方もいてくれたのは、少し意外でした。まあポケットークがあれば大丈夫、と思っていた自分が甘かったことを痛感しました。



別府や宮島では英語の説明がパンフレットでも殆どなく、説明が難しかったです。観光立国を掲げているのであれば、英語のパンフレットの準備があればよいのに、と思いました。社殿などどういえばよいのか中々思いつきませんでした。

### ●ミッドナイトミーティング

彼の国(ヨーロッパ?)の習慣のようですが、自宅に戻ってからすぐに寝ずに、必ず団欒の時間をもちます。それが夜の1時とか2時くらいまで続きます。話題は旅行だけでなく日本の習慣や社会制度に及びます。年金制度など最初何の話をしているのかわからなかったのですが、年金の話か、と気づいて、話が進みました。大体似たような

制度のようですが、年金の支給金額がどんどん下げられるので、かなり不満なようだったです。でも日本でも同様の話がされている、と言うと、日本でそうならしょうがない、という感じになりました。老人施設もありますが、日本ほど細かく面倒はみてもらえないし、それが当たり前だそうです。老人に、なくなるまでそんなに手間をかけないようです。神に召される、ということで、日本人のように死後の自分の幸せを願う、とかいうような死生観ではないように思いました。ポケット頼りでは、団欒では話がはずみません。

#### ●旅行の仕方

驚いたのは、私たちと別れた後の観光については、プランを持たずに来日し、相談しながら決めていた点です。別れる日のホテルも、前日決めるような状態でしたし、先

のミーティングで白川郷へのルートを私たちと相談しながら決めるのもすごいと思いました。また観光地は、日本より、海外で知られているところがあるようです。海外客用に、“Japan”という分厚いガイドブックがあります。私たちも入手して読むと、知らない場所が結構有名になっていて、相談されたときに分からず慌てました。瀬戸内海の豊島（美術品が屋外に設置されています）などがそうでした。

以上、今回は特に旅の仕方について多く学べたことが良かったです。それと日本を観光案内するには、自分たちが海外旅行するときより、英語力が必要に思えた点は新しい発見でした。

## 趣味の写真撮影



岡 浩二（院入 H07）

精密H5卒、システム院H7修了の岡と申します。大学卒業後、家電メーカーに就職し、以来、家電製品の開発に携わって25年目になります。現在は奈良市に住んでいて、10年ほど前に勤務地が奈良から関西圏内と比較的近いながらも離れた場所に移ったため、その時から単身赴任生活をしています。

今回、会員ひろばへの投稿を依頼され何を書こうかと悩みましたが、趣味の写真撮影についてお話ししたいと思います。とは言いつつも、写真を始めて6年になりますが、まだまだ初心者の域を出ず、私よりももっと写真のことに詳しい方が大勢おられることを承知の上で、私なりに感じることをお話しします。

写真を始めるきっかけは、6年ほど前に会社の同僚から、インターネットのとある写真投稿サイトを紹介されたことです。それまで写真にあまり興味のなかった私でしたが、丁度、何か新しいことに挑戦したいと思っていた時期と重なり、素人でも気軽に投稿できるサイトということもあって、試しに、過去に家族と出かけた先で撮影した写真のうち割りと面白そうな写真を3枚ほど選んで投稿してみました。このサイトでは、投稿された写真に対して他の人が良いと感じると拍手できる機能があり、その拍手の数によって写真に対する客観的な評価が分かる仕組みとなっていて、私が投稿した3枚

の写真では、目安となる投稿2週間後の拍手の数がそれぞれ、4、2、1個という結果でした。本当に上手な人なら100以上の拍手を、そこそこ上手いという位の人でも10以上の拍手をもらっている中で、当初はもう少し拍手がもらえると勝手に思っていただけに、この結果に非常にがっかりしました。そこで、せめて10の拍手はもらいたいとの思いから写真を始めることになりました。

その後、写真の撮り方について色々考え、実践するうちに、平均月に1回・10枚位ずつの写真を投稿する中で、何回かに1回はそのうちの1枚が拍手を10以上もらえるようになりました。それ以降、次はもっと多くの拍手をもらいたいという気持ちが、写真を続けることに繋がっています。

写真を撮る上で感じる事が3つ程あるので紹介したいと思います。

一つ目は、目で見て美しいと感じたものが必ずしも撮影して美しい写真になるとは限らないということです。これにはいくつかの理由がありますが、例えばその一つとして、人間の目は綺麗なものだけを見て余計なものは自動的に排除するようになっているということがあります。写真を始めて間もない頃によくやった失敗で、お寺をバックに手前に一面に咲くコスモス畑を撮影して、今日は良い写真が

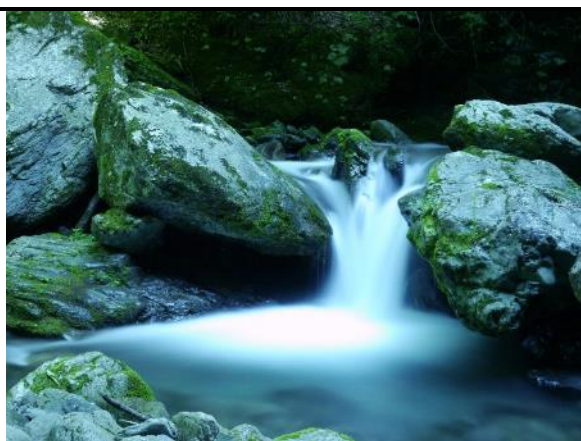
撮影出来たと思って家に帰ってパソコン画面で写し出してみると、綺麗なコスモス畑の向こうに数本の電柱とそれらを横切る電線が写っていて、折角の写真が台無しになっていてがっかりするということがありました。このように、自分が見たくないものを無意識に排除し綺麗だと思い込んでいる景色も、カメラは忠実に撮影するのでそれほど綺麗な写真にはならないのです。この他にも、目で見える範囲とカメラで撮影できる範囲が異なるために全体の雰囲気が変わってしまって思い通りに綺麗さが表現できないとか、明るいものと暗いものが同時にある場合に、目では調節できる光の明暗がカメラには限界があるために思い通りに表現できないこと等があります。構図、ピント、シャッタースピードや絞り等々といった技術的な難しさとは別に（関係する部分もありますが）、撮りたいと自分の目で見て感じたものがそのまま写真に表現できるとは限らないところにも写真の難しさがあります。ちなみに、撮影で電線を気にするようになって初めて知ったことですが、電線は、人のいないような結構な山奥や意外な場所にまで伸びていることに気付かされます。

二つ目は、自分が良いと思った写真が必ずしも皆が良いと思うとは限らないということです。サイトに写真を投稿する際は、撮影した沢山の写真の中から、当然、今回はこれが良く撮れたと思う写真を選んで投稿をする訳ですが、拍手をもらえるのは必ずしも自分が良いと思った写真ではなく、ついで程度の気持ちで投稿した写真の方が拍手が多いといったことが良くあります。私にとって拍手は励みの一つになっていますが、考えてみれば好みは人それぞれなの

で、他人の評価を気にする必要は無いと割り切って、自分が良いと思える写真をずっと追いつけるのも一つのやり方かも知れません。

三つ目は、どこに行き何撮ろうかということで常に悩みます。桜や紅葉のようにテーマが決まっている時は行く場所もある程度決まってくるのですが、テーマが特にない時に、できるだけ近場で何か良い写真を撮ろうとすると、行く当てがなく困ることが良くあります。自分で綺麗な川を見つけて撮影したり（写真1）、早起きして人気のない梅林で撮影したりすることもあります（写真2）、ネタがなく、つい仕方なく奈良公園で鹿を撮ることが多いです（写真3、4）。どなたか良い情報があればお教え頂けると有難いです。

世間ではスマホの普及で写真撮影の裾野が広がり、インスタ映えという言葉が流行って数年が経ちます。プロではない素人の撮影した写真が、ネットを通じて多くの人に感動を与えることができる世の中になっているわけですが、私の場合は、そのように人に感動を与えるといったことは無縁で、平日は会社で業務に追われる中、週末の息抜きとして写真撮影をしています。撮影に出かけた先での人との出会いや、写真を撮る中で見つける新たな発見（ささやかなものですが）を楽しみながら、投稿後の拍手の数に一喜一憂しつつ、趣味の写真撮影を楽しんでいます。もし興味のある方がおられましたら、一度、写真撮影に出かけられては如何でしょうか。是非、お勧め致します。



（写真1）奈良・東吉野村にて



（写真2）奈良・月ヶ瀬梅林にて



(写真3) 奈良・若草山山頂にて



(写真4) 奈良公園にて

## 会員だより（令和元年の総会案内への返事より）

<p><b>竹村 敬一</b>（金属 S22） 両脚が弱りまして、歩行が困難になりました。本を読んだりTV、DVDを見たり。デイサービスに行ったりしています。</p>	<p><b>荘司 正明</b>（電気 S22） 肩の骨折事故後の右手（不自由）のりハビリ中、その他軽いが体調不良もあり、外出には娘に手を引いて貰う状態です。一応元気ですが遠出は無理なので総会欠席します。申し訳ありません、同世代の同窓も少なくなり淋しい限りです。御盛会を祈ります。</p>	<p><b>松居 健次</b>（機械 S26） 令和の改元を聞いて、まず感じたのは冷めたー「雨降ればいくらにしても零は零」連想→「承諾必謹」但し、発令者の格が違う。 案の定、広島・岡山は10連休のボランティアに救われた。</p>
<p><b>池崎 学</b>（電気 S32） 85歳になりましたが、お陰様で元気に過ごしています。 グラウンドゴルフで健康維持に努めています。</p>	<p><b>佐々木 七郎</b>（原動 S34） 市の文化祭のコーラス練習日で総会は欠席します。</p>	<p><b>中村 忠雄</b>（電気 S35） 元気に過ごしております。昨年は4月の中山寺奥の院、7月の西宮、11月の東福寺、今年は3月の淀川河川公園に参加させて頂きありがとうございました。</p>
<p><b>横山 茂</b>（電気 S35） 幹事の皆様お世話になりありがとうございます。今回予定があり総会欠席いたします。大阪あたりで開催して頂ければありがたいです。</p>	<p><b>小内 弘</b>（短電気 S36） 旅行記は楽しかった。</p>	<p><b>下山 明正</b>（電気 S36） いつもお世話になります。カラーで美しい楽しい旅行記を読ませて頂きありがとうございました。</p>
<p><b>市川 隆敏</b>（機械 気 S37） 昨夏、大病を患い5ヶ月入院しました。要介護5になり、その後リハビリをやり歩けるようになりつつあります。</p>	<p><b>新田 睦夫</b>（金属 S37） あと一か月余りで80歳になりますが、元気に過ごしております。</p>	<p><b>難波 瞭平</b>（金属 S37） 杖をついても歩行に難あり、未知の場所は不安です。</p>
<p><b>齋藤 和彦</b>（化学 S38） 自治会の行事との関係で総会欠席します。関西支部の進展を期待しています。</p>	<p><b>加藤 紘</b>（化学 S39） 「みんなの広場」へ寄稿された小串正樹様の「モータ技術に携わって」がとても解り易くためになりました。</p>	<p><b>松江 裕郎</b>（機械 S40） 会報スタイルが一押し、アカ抜けたと思います。こちらは身体のあちこちが次々と故障し困っています。自動車のように部品交換できれば良いのですが。</p>
<p><b>伊勢山 宏</b>（化学 S40） 古市古墳群がやっと世界遺産に登録され喜んでおります。関西の中で世界遺産がなかっただけに、しかも住まいの周りの古墳群が対象なので嬉しさは格別です。日々それらの古墳の周辺を1～2時間かけて徘徊するのが小生の日課です。天皇陵だけでも7基あり、隣の羽曳野市の名前の元になった日本武尊の御陵などもあります。</p>	<p><b>船田 順久</b>（機械 S42） この1年間、町内の自治会長をして、その仕事、やるべきことの多さに驚いています。 今回は年1回の総会相当の住民会議を5回もして遊ぶ時間がなかった。この三月で終わりホッとしています。</p>	<p><b>石井 良夫</b>（機械 S44） 元気にしています。総会の盛会祈っています。</p>

鈴木 孝三 (精密 S45) 健康第一に、テニス、ゴルフ、家庭菜園、ボランティア (地域でのモーニングカフェ主催) を仲間と楽しんでいます。	宮崎 真 (短機械 S48) 会報刷新、内容、見やすさ、紙質、写真の見ごたえ、どれも素晴らしい。多くの労力の賜物と拝察します。	齊藤 進 (院機械 S49) すみません、6/22 はすでに別件で決まっていますので総会には出席できません。
森 隆 (情報 S52) 今年4月に65歳になったので、来年度からは何か新しい事をやりたいと思っています。	吉田 淳 (院都市 H12) 会報楽しみにしております。	小串 正樹 (院理学 H27) 技術者として仕事しています。申し訳ありません、仕事の都合で総会出席出来ません。

### 支部会員移動

計報一 心よりお悔やみ申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。 一

朝井 弥市様 (専船用 S22) 2020年5月12日永眠されました。

額賀 直 様 (機械 S45) 2020年9月14日永眠されました。

## 令和2年度の決算報告

多賀工業会関西支部 令和2年度決算書(案)

		R2.4.1~R3.3.31	
収入の部	1. 前期繰越金		340,138
	(1) 銀行預金	330,806	
	(2) 郵便預金	4,172	
	(3) 現金	5,160	
	2. 支部年会費		0
	(1) 振り込み(人)	0	
	(2) 総会時入金(人)	0	
	(3) 寄付(人)	0	
	3. 多賀工業会本部より支部支援金	43,900	43,900
	4. 支部総会		0
	(1) 懇親会費(支部会員人)	0	
	(2) 本部、他支部(中部、中国四国)からの祝金	0	
	5. 広告収入		0
会報第 号	0		
6. 利息	1	1	
	合 計		384,039
支出の部	1. 支部総会費		0
	(1) 会場、懇親会費用	0	
	(2) 来賓土産代	0	
	(3) 講師謝礼代	0	
	(4) 役員会会費	0	
	(5) 写真代・送料	0	
	2. 支部会報発行費用		0
	(1) 第58号(印刷、総会出欠ハガキ含む)	0	
	(2) 第58号(送料)	0	
	3. 会合費		0
	4. 幹事会費		0
	(1) 上期: 回開催(室代等)	0	
	(2) 下期: 回開催(室代等) + 2021/3/27開催	0	
5. 通信費(総会出欠返信ハガキ料金等)	0	0	
6. 支部会費振込手数料	0	0	
7. その他		0	
(1) 支部活性化	0		
(2) 事務用品購入(資料印刷等)	0		
(3) 銀行振込手数料	0		
支出計			0
次期繰越金			384,039
(1) 銀行預金	330,806		
(2) 郵便預金(振替通知書で管理)	48,072		
(3) 現金	5,160		
	合 計		384,039

会計担当 高橋 昌之(精密 S44)  
田桑 克己(化学 S59)

令和2年度多賀工業会関西支部の会計は、すべて正確に報告されていることを認めます  
会計監査 伊勢山 宏(化学 S40)

## 第10回関西・中部支部親睦ゴルフ大会

6月1（日）宿泊、懇親会、2日（月）ゴルフの第10回関西・中部支部合同ゴルフが滋賀県甲賀市の杉山コースで開催されました。



今回は関西支部幹事で、鈴木が中部幹事の磯部さん（58精）さんと準備を進めて来ました。

杉山コース（東、西）、6月上旬、晴天のゴルフ日和の中で無事終えることができました。

ゴルフ参加者は、10名の予定でしたが、前日に、新田陸夫（37金）さんが奥様が急遽入院で参加出来ませんでした、また中部支部の幹事の磯部博之（58精）が急遽海外出張で参加出来ませんでした。

ゴルフ参加者（敬称略）は関西支部から伊勢山宏（40化）、船田順久（42機）、高橋昌之（44精）、鈴木孝三（45精）の4名。中部支部から、池田廣治（38金）、菅谷信夫（45機）、佐々木芳雄（48機）、宇治土貞淳（57精）の4名でした。

当日のゴルフは宿泊（関西3名：船田さん、高橋さん、鈴木、中部4名、）当日プレー（伊勢山さん）合計8名で杉山（東、西コース）で競い合い。

栄えある優勝は宇治土さん、準優勝（高橋さん）、3位（鈴木）、ブービー賞（佐々木さん）でした。

（写真左より佐々木・高橋・宇治土・鈴木）

支部対抗戦は前回から（関西4勝、中部4勝）でなくし、懇親ゴルフでダブルペリア方式に変更して、お互いの懇親を図る方式に変更し、今回は2回目（計10回）の大会になります。今回も美しい景観の丘陵コース、各ホールは上り、下りとうねり変化があり、フェアウェイも狭く、グリーン周りを多くのバンカー、池が取り囲み、正確なアイアンが要求される面白い戦略に富んだレイアウトとなっていました。特に大会開催前のため東コースは、傾斜したところにホールが配置され、メンバーも3パットが続出する難しいグリーンでした。その中で、各組み、お互い親睦を深めなが各人それぞれ真剣にプレーをしておりました。



前日の宿泊者（関西：3名、中部：4名）はホテルで夕食会を含むホテルロビーでの懇親会では、自己紹介、近況、最近の話題、仕事、趣味、等で盛り上がりました。特に高齢の方々からの日常の健康管理のやり方、実体験を踏まえたお話は我々の今後の健康維持に大変参考になりました。

大学時代の仲間・クラブ活動、会社での思い出、定年後の趣味、現在の社会状況、等、雑多な意見交換は、同じ大学で過ごした親しみが他では得られない安心、親睦感があるように感じました。今回の幹事は関西支部（鈴木）で次回は中部支部の予定です。

両支部とも参加者の高齢化による人数減少する中ですが、親睦・ゴルフ交流会を続ける事を約束し、お互い再会を誓い散開致しました。



## 第19回ウォーキング「大阪 中之島」

今回は大阪・中之島にある近代建築をめぐるウォーキングです。この辺りは、商社や企業の支店が立ち並ぶ地域なので、会員の皆さんも良くご存じの場所とは思いましたが、明治・大正期に建設された建物や橋を見て歩くウォーキングとして計画しました。秋晴れの下待ち合わせの淀屋橋南詰に10名の参加者が集まりました。集合場所に面した御堂筋の歩道では大阪マラソンの練習なのでしょうか、トレーナーの指導を受けながら多くの市民ランナーの方が走り過ぎて行きます。

まずは、大正13年に公募されたデザインで建設された淀屋橋と大江橋を歩きます。両橋は国の重要文化財に指定されているそうで、アーチ形の橋や欄干に取り付けられているガス灯を見ると当時の流行を感じられそうです。淀屋橋と大江橋に挟まれた中之島に日本銀行大阪支店があります。この場所は島原藩蔵屋敷があった所で、明治4年に郵便役所が置かれ、その後明治36年に日本銀行大阪支店が建てられました。現在銀行業務は西隣に建てられた新館で行われ、この建物は旧館と呼ばれ平日は見学も出来るそうです。



大正7年に竣工したネオルネッサンス様式の建物で、現在も利

続いて、大阪市役所の前を通り大阪府立中之島図書館、中央公会堂に向かいます。中之島図書館は、外観はルネッサンス様式で内部はバロック様式の建物との事、日曜日は休館日なのですが玄関ホールは見る事が出来ました。中央公会堂は



用されています。ここでは、自由見学エリアを見た後中央公会堂をバックに記念写真を撮りました。

中之島公園で小休止した後、予定を変更して近くにある適塾に行く事になりました。欄干にライオンの像が据えられている難波橋を渡り大阪取引所の前を通って適塾に向かいます。適塾は蘭学者の緒方洪庵が開いた蘭学塾で、この建物は弘化2年(1845)に町屋を購入して塾を移転したもので重要文化財です。幕末から明治維新に活躍した橋本佐内、大村益次郎、福沢諭吉など全国から約千名の塾生がこの適塾で学んだそうです。一冊しかない蘭和辞典「ツーフ辞書」を置いたツーフ部屋(持ち出し禁止)や、塾生が寝泊まりした塾生大部屋を見学しました。塾生は辞書をツーフ部屋で書き写していた事や、大部屋に残された柱傷を実際に見るとその時代の熱気を感じられる様でした。

この後私たちは淀屋橋まで戻って、喫茶店で軽食を取って解散しました。皆さんお疲れ様でした。

参加者(敬称略) 中村忠雄(電気S35)、下山正明(電気S36)、岡山伯匡(電気S36)、中島敬吾(電気S36)、伊勢山宏(化学S40)、高橋昌之(精密S44)、鈴木孝三(精密S45)、川上啓二(機械S50)ご夫妻、田桑克己(化学S59)

## 第20回ウォーキング「滋賀 日吉大社」

比叡山の麓にある日吉大社は、滋賀県の紅葉の名所です。集合場所の坂本駅前には、伝教大師最澄が唐から持ち帰った茶の

種子が植えられて、日本最古の「日吉茶園」がありました。この週の金土日の3日間に限って、地元の坂本観光協会のイベントで

無料の観光案内を行っているとの事でした。早速 2 時間コースのガイドをお願いしました。

今回の参加者は 9 名です。ボランティアガイドの佐伯さんに従って日吉大社をめぐる予定です。



今年の紅葉は、例年よりも色付きが悪いなどと説明を受けながら、鳥居をくぐって日吉大社に向かいます。日吉大社は、約



2100 年前に創祀された全国 3800 余りの分霊社（日吉、日枝、山王神社）の総本宮です。平安京遷都の際には、都の表鬼門に当たることから都の魔除・災難除を祈る社として、さらに伝

教大師が比叡山に延暦寺を開かれてからは、天台宗の守り神として存在して来たそうです。かつてこの日吉大社の敷地には約 100 近い寺社がありましたが、廃仏毀釈の影響で唯一天皇陛下が寄進した仏塔以外の仏教施設は破棄され、施設はおおよそ半数になった等々興味深い話を聞くことが出来ました。境内には、石橋ではあるものの木造と同じ組み方をした大宮橋（重要文化財）、「神猿」（まさる）神様のお使いとして猿を楼門に彫ったり、実際に半野生の猿を飼っている猿舎、床下にかつて仏事を営んだ「下殿」を持つ西本宮本殿、背後にある八王寺山に高さ 10m の大岩があり朝日を受けて輝いていたことからこの地の信仰が始まったなど説明を受けました。

このあと滋賀院門跡で小堀遠州によって作られた庭園を鑑賞して、ガイドの伯方さんと別れました。屋台の出店があるスペースで昼食を摂った後、最後の見学先の旧竹林院で庭園を見学して本日のウォーキングを終えました。



参加者（敬称略）

岡山伯匡（電気 S 3 6）、加藤 紘（化学 S 3 9）、伊勢山宏（化学 S 4 0）、鈴木孝三（精密 S 4 5）ご夫妻、川上啓二（機械 S 5 0）ご夫妻、田桑克己（化学 S 5 9）夫妻

## ☆多賀工業会・関西支部 テニス同好会 ☆



2019/11/19 テニス同好会を発足し、2ヶ月毎に パナソニックリゾート大阪で実施しています。基本的に第 4 火曜日の 13:00~15:00 の 2 時間です。興味のある方は、初心者でも大歓迎ですので、ご家族の方も含め自由にご参加ください。

■場所 パナソニックリゾート大阪

〒565-0802 大阪府吹田市青葉丘南 10 番 1 号

TEL:(06)6877-0111

●電車利用：最寄駅 大阪モノレール・宇野辺駅 宇野辺駅から  
リゾート大阪まで徒歩約 10 分

# 大学の話題及び学科名の変遷

## ●茨城大学創立 70 周年記念式典



令和元年 5 月 25 日(土)、茨城大学水戸キャンパス講堂で創立 70 周年記念式典を開催しました。第一部は、三村学長が、未来へ向けた本学の新たなあゆみを表明後、来賓よりの祝辞。



チアリーディングサークル「Cherry's」の華麗なパフォーマンスで幕を開けた第二部では、佐川副学長が本学の歴史と将来ビジョンを発表。最後は会場全員で校歌を斉唱しました。

## ●チバニアン命名決定

本学大学院理工学研究科(理学野)の岡田誠教授が代表を務める研究チームが進めていた、千葉県市原市の地層「千葉セクション」を GSSP(国際境界模式層断面とポイント)とする申請活動について、2020 年 1 月 17 日、韓国釜山において開催された、IUGS(国際地質科学連合)の理事会において GSSP の審議および投票が行われ「千葉セクションの GSSP 提案」が承認されました。

これにより「千葉セクション」は前期-中期更新世境界の GSSP として認定され、地質時代の中期更新世(約 77 万 4 千年前～約 12 万 9 千年前)が、「チバニアン(Chibanian)」と名付けられることとなりました。

これまで、日本に GSSP はありませんでした。本日、千葉セクションが日本初の GSSP として認定されたことにより、日本の地名に由来した地質時代の名称が誕生しました。(昭和 54 年機械工学科卒 行正記)



## ●学科名の変遷

機械工学科 機械工学第2学科 精密工学科 金属工学科	機械工学科 物質工学科	機械工学科 生体分子機能工学科 マテリアル工学科	機械システム工学科 物質科学工学科
電気工学科 電子工学科 情報工学科	電気電子工学科 情報工学科 メディア通信工学科	電気電子工学科 情報工学科 メディア通信工学科	電気電子システム工学科 情報工学科
建築工学科	都市システム工学科 H元年以降	都市システム工学科 H17年以降	都市システム工学科 H19年以降

追記: 学科名の変遷(現在の学科名がよく分からない、との声があったので)

## 支部長からの連絡

多賀工業会関西支部会員の皆様

昨年からの新型コロナの感染対策として、3密を避けた行動範囲が限られた生活を過ごしておられると思います。関西支部も2020年は総会や同好会活動を中止しましたが、2021年も同様に総会や同好会活動の中止をご了解下さい。

本来であれば総会にて本年度の活動方針等の議案承認を頂いており、昨年は以前の総会出席者の方にメールにて議案を送り、議案承認のメールを返信して頂きました。

今年度は、昨年の活動実績が殆どなく、今年度も活動自粛状態であり、また役員体制も昨年と同じ体制としますので議案承認の確認を頂かなくても承認されたものとして進める事をご了承ください。

会報につきましては、昨年発行予定の原稿を頂いていますので、幹事内で編集を行い発行することにしました。活動自粛の為、今年も会費納入は頂きませんが、上記の会報や少人数での幹事会は予定しますので、寄付につきましては今年度はご協力お願いいたします。

新型コロナのワクチン接種が進み、感染が収束し、従来の生活に早く戻れることを祈っています。

今回の会報発行に当たりコロナ禍のなか打合せ他出来ず、幹事長の川上氏に作業集中し大変協力頂きました。お礼申し上げます。

支部長 萩原 信男

### 編集後記

令和2年に関西支部会報・第58号を発行予定でしたが、新型コロナの感染防止対策として、総会や同好会活動、幹事会も全て休止となり、会報も発行が出来ませんでした。

令和3年度も現在、大阪府、京都府、兵庫県では緊急事態宣言は発出されており、総会や、イベントはすべて中止となります。

会報につきましては、昨年度の発行予定時に投稿いただいている原稿がありますので、この原稿を元に編集を自前で行い、発行することになりました。従いまして、内容は昨年時点のもので、現状とは異なっている箇所があるかと思いますがご容赦願います。

また、編集作業も慣れない点が多く、上手くデザインできませんでしたが合わせてご容赦下さい。

新型コロナの収束と経済活動の活性化を切に祈っています。 川上（機械S50）